

1日でわかる経営分析マスターコース

～ 財務諸表分析の基礎から、企業価値評価のポイント、ROEとの関係まで ～

□日 時：2023年8月25日 (金) 10:00～17:00 (6H)

□講 師：公認会計士・税理士

木村安寿氏

(元 関西学院大学専門職大学院教授)

□会 場：本会関西本部内 専用教室 (下記案内図参照)

□主 催：一般社団法人 日本経営協会

大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内

□開催にあたって

財務諸表分析の基本は、損益計算書・貸借対照表を使って安全性・収益性・生産性などの経営状態を明らかにすることにあります。また最近では、そうした基本的な分析に加え、キャッシュフロー計算書による業績評価や、企業価値評価を行うようなケースも増えております。しかし、各々の分析手法は目的や使い方が異なるため、効果的に活用するためには、その違いや特徴を体系的に理解しておくことが必要です。

本セミナーでは、コンサルティング経験豊富な講師が、各種分析手法の基本と実務上のポイントをわかりやすく解説いたします。その上で、上場企業のデータを用いた設例演習を行うことで、実際に活用できるよう分析手法を身に付けていただきます。

対象 経営企画部門、経理・財務部門、事業部門の方々
(経営分析手法の理解と習得に力点を置くため、財務諸表に関する基礎的な知識をお持ちの方)

講師紹介

公認会計士・税理士

木村安寿氏

(元 関西学院大学専門職大学院教授)

昭和24年生まれ。昭和48年大阪大学経済学部経営学科卒業。昭和48年監査法人等松青木(現 有限責任監査法人トーマツ)入所、昭和52年公認会計士登録。平成3年トーマツコンサルティング(株)代表取締役社長就任。平成7年監査法人トーマツ代表社員就任。平成9年デロイトトーマツコンサルティング(株)関西事業部長常務取締役。平成11年トーマツ及びデロイトトーマツコンサルティング(株)退職後、木村公認会計士事務所開業(現)。平成13年税理士登録。平成17年関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授就任。

ビジネス、IT、会計・税務の様々な分野に精通し、豊かな経験に裏付けられたコンサルティングには定評がある。所有資格は、公認会計士・税理士・システム監査技術者・行政書士等多岐に亘る。

(著書)『IT内部監査人』(生産性出版)共著、『トータルシステムの基礎』(中央経済社)全5巻編集、『ホテル旅館業の会計と税務』(清文社)共著

■ 申込要領 ■

参加料 (1名につき) :

	参加料	消費税	合計
本会会員	30,000円	3,000円	33,000円
一般	35,000円	3,500円	38,500円

申込について :

裏面の申込方法をご確認のうえ、WEBにてお申込みください。追って、請求書と参加券をご連絡担当者までお送りいたします。参加料は開催の3営業日前までに必ずお振込みください。(経理処理の都合等にて遅れる場合にはご一報ください。)

- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがご連絡ください。
- 振込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。

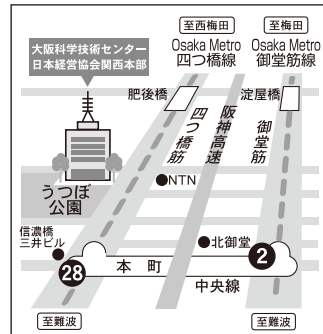
キャンセルについて :

開催日の3営業日前からは受講料(税込)の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までにご連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

その他 :

- 教材は当日お渡しいたします。
- ご参加者が定員を超えた場合や(講師と)同業の方からのお申込みはお断りする場合があります。
- 録音・録画・写真撮影はお断りいたします。
- 受講中はパソコンのご使用をお控え願います。
- 参加者が少人数の場合、中止もしくは延期させていただく場合がございます。中止の場合は、ご入金いただいた参加料を全額返金いたします。

〈会場案内図〉



- 大阪方面よりお越しの場合
- ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- ▶ 新大阪方面よりお越しの場合
- ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分
- なんば方面よりお越しの場合
- ▶ 四つ橋線「本町」駅下車(28号出口)北へ徒歩5分
- ▶ 御堂筋線「本町」駅下車(2号出口)西へ徒歩8分

お申込・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 関西本部 企画研修グループ 担当：田中
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル5階 URL <https://www.noma-kansai.jp/>
TEL 06(6443)6962 (ダイヤルイン) FAX 06(6441)4319 E-mail ksosaka@noma.or.jp

1. 企業価値

- (1) 時価総額の推移
- (2) M&Aの推移
- (3) 無形資産の重視
- (4) 企業価値創造サイクル

2. 経営分析のための財務知識

- (1) 損益計算書
- (2) 貸借対照表

3. 決算書の基本的な分析方法

- (1) 経営分析の手法
- (2) 経営分析の視点と対象
- (3) 経営分析の種類

4. 財務安全性分析

- (1) 流動比率
- (2) 当座比率
- (3) 自己資本比率
- (4) DEレシオ
- (5) インタレスト・カバレッジ・レシオ
- (6) 固定比率
- (7) 固定長期適合率

5. 収益性分析

- (1) 売上高利益率
- (2) 資本に対する利益率
 - ・ 総資本利益率 (ROA)
 - ・ 自己資本利益率 (ROE)
 - － ROEを高める方法
 - ・ 財務レバレッジ
 - ・ 投下資本利益率 (ROIC)
- (3) 損益分岐点

6. 活性度分析

- (1) 回転率
 - (2) 付加価値
 - (3) 付加価値と生産性
 - (4) 労働生産性と労働分配率
- (